

理由づけを明確にして意見文を書こう

中心学習材 「グラフや表を用いて書こう」(光村図書 5 年)

<付けたい力>

- ◎意見に説得力をもたせるために、グラフや表を用いて根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わるように書く力(書工)
- 書いたものを発表し合い、グラフや表の用い方やその効果について、助言し合う力(書力)

<単元を貫く言語活動>

グラフや表を用いて、根拠を明確にした意見文を書く。

<主体的な思考・判断・表現を促す手立て>

- ・第 1 次で、城南小学校の暮らしに関する統計資料を読んだりそれを基に話し合ったりする活動を通して、学校生活についての自分の意見を「城南小のくらしブック」にまとめて全校に発信するという目的意識と、資料を活用して説得力のある意見文を書く活動への課題意識をもつことができるようにする。
- ・第 2 次で、例文の構成や統計資料の要件を読み取ったり引用する資料の内容を要件別に書きまとめたりする活動を通して、説得力のある意見文の文章構成や資料の効果的な活用の仕方を考えることができるようにする。

1 子どもと単元について

(1) 子どもの実態

子どもたちは、前単元の学習において、委員会活動や学年の活動についての反省や改善点について話し合ったり報告書を書いたりする学習を行った。目的や意図に応じて文章全体の構成を考えたり、事実と感想、意見を区別して書いたりする力が徐々に身に付いてきている。しかし、自分の意見を明確にした文章を書いたり、説得力をもって説明したりする力については、まだ学習経験が少なく、指導を重ねていく必要がある。そこで、本単元では、統計資料を引用して意見文を書くことを通して、根拠を明確にしながら自分の考えを書きまとめることに重点を置いて指導する。

(2) 学習材について

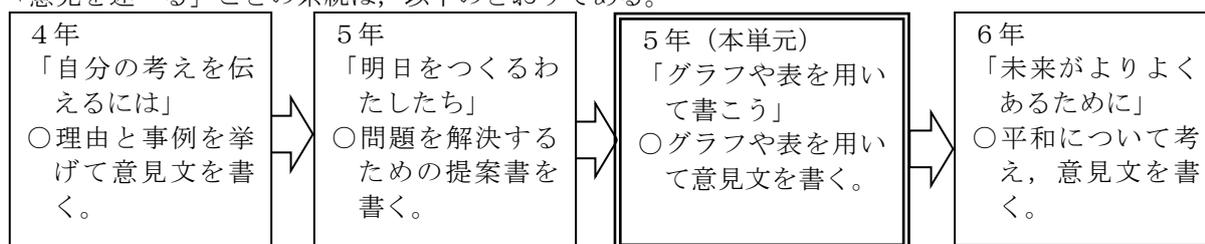
中心学習材「グラフや表を用いて書こう」は、前単元「天気を予想する」で学んだ統計資料を用いた説明の工夫を生かし、自分の意見や考えについて根拠を明確にしながら意見文を記述する力を育てることをねらいとしている。学習材の例文は、自分が生きている社会に目を向け、暮らしやすいか暮らしにくいかのどちらかの考えをもたせて自分の考えを裏付ける資料を用いて文章を書いたものである。「始め・序論」「中・本論」「終わり・結論」から成る双括型の文章構成の効果や、統計資料の効果的な活用の仕方を学ぶ上で、有効であると考えられる。また、自分の考えを裏付ける統計資料の探し方や統計資料の読み取り方、統計資料を説明する場合の要件についての理解を深めることのできる学習材でもある。

(3) 言語活動の特徴と系統

本単元では、「意見文を書く」ことを、単元を貫く言語活動として設定する。以下の特徴を通して、付けたい力の確実な育成を図る。

<p>〈取材〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えや立場に沿った統計資料 ・保健関連 ・体力関連 ・給食関連 ・生活関連 ・学習関連 	<p>〈構成〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えや立場に沿った構成 ①始め・序論 …自分の考え、主張 ②中・本論 …根拠となる資料とその説明 ③終わり・結論 …自分の考え、主張のまとめ 	<p>〈記述〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えや立場に説得力をもたせるための記述 ・引用する統計資料の説明の要件 …「表題」「示している内容」「注目する数値」「考察」 ・根拠の明確さに沿った文末表現 	<p>〈交流〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○引用する統計資料から導き出される考察についての助言 ○意見文の感想や書きぶりのよさについての伝え合い
--	---	--	--

「意見を述べる」ことの系統は、以下のとおりである。



(4) 指導に当たって

指導に当たっては、次の三つのことを大切にします。

一つ目は、「自分の考えと根拠を明確にした意見文を書く」という言語活動に対する課題意識を明確にすることである。そのために、第1次では、城南小学校の暮らしに関する統計資料を提示し、資料を読んだり資料を基にして自分たちの生活について話合ったりする活動を行う。この活動を通して、今後の城南小の暮らしについての自分の考えをもち、意見文集「城南小のくらしブック」にまとめて全校に発信するという目的意識をもつようにする。その際に、前単元「天気を予想する」の学習を想起することを通して、自分の意見に説得力をもたせる上での表やグラフを引用することの効果について考えさせ、課題意識の明確化を図りたい。

二つ目は、資料を引用して書く力を高めることである。そのために、第2次の学習において、教科書の例文を基にして文章構成や統計資料を引用する際に必要な要件（「資料の題名」「資料が表している内容」「注目すべき数値や言葉」「数値や言葉から考えられること」）を捉える活動を取り入れる。また、この活動で身に付けた力を生かして、自分の主張の根拠となる資料について、要件別に分析し書きまとめる活動を取り入れる。これらの活動を通して、説得力のある意見文の文章構成を考える力や、資料を効果的に活用して書く力の向上を図りたい。

三つ目は、お互いの意見文について助言し合う力を高めることである。そのために、ペアや意見文のテーマに基づく3～4名から構成されるグループによる活動形態を取り入れる。特に、「引用した統計資料から、どんな考察が導き出されるか」「書き上げた意見文が、資料の効果や論の展開を考えたものになっているか」などについて検討する際に活用する。また、単元の最後には、意見文の交流会を行い、意見や感想を交流する。

これらを通して、資料を用いて根拠が明確な説得力のある文章を書く力や、資料の使い方や表現の仕方について助言し合う力を高めていきたい。

2 単元の指導目標

○意見に説得力をもたせるときのグラフや表の有効性に気付き、効果的に引用しようとする。

【関心・意欲・態度】

◎図表やグラフなどを引用し、根拠を明確にしながら自分の考えが伝わるように書くことができる。

【書くこと エ】

○意見文を発表し合い、引用の仕方や表現の工夫に着目して助言することができる。

【書くこと カ】

○文や文章にはいろいろな構成があることを理解することができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1)イ(キ)】

3 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
○意見文に説得力をもたせるときのグラフや表の有効性に気付き、自分の考えたことが伝わるように、効果的に引用しようとしている。	◎統計資料を用いて、根拠を明確にしながらか自分の考えを書いている。 ○友達の見文を読み、資料の引用の仕方や表現の工夫に着目して助言している。	○説得力のある文章を書くための構成やその要素について考え、意見文を書いている。

4 学習指導計画（全7時間）

【主な段階】

【主な学習活動】

【主な手立て】

前単元
説明のしかたの工夫を見つけ、話し合おう「天気を予想する」（6時間）

「天気を予想する」の学習を通して、自分の考えについて説得力のある説明の仕方の工夫を読み取り、話し合う。
 <筆者の説明の工夫>
 ・グラフや表、写真や図を使う意図や効果
 ・数値の効果
 ・表やグラフの説明の仕方
 ・考えと事実の記述の仕方

城南小学校の暮らしに関する統計資料を読んだりそれを基に話し合ったりする活動を通して、自分の意見を明確にし、資料を活用して説得力のある意見文を書く活動への課題意識をもつことができるようにする。

第1次
単元の学習について、課題意識と見通しをもつ。
（1時間）

①城南小学校の暮らしについての自分なりの考えをもち、意見文集「城南小のくらしブック」を作成して全校に発信するための学習計画を立てる。
 <評価> _____
 ①学習の見通しをもち、「城南小学校の暮らし」について自分の考えをまとめている。
 《発言・ワークシート》

例文の構成や統計資料の要件を読み取ったり引用する資料の内容を要件別に書きまとめたりする活動を通して、説得力のある意見文の文章構成や資料の効果的な活用の仕方考えることができるようにする。

第2次
目的に合った統計資料を用いて、自分の考えを明確にした意見文を書く。
（5時間）

資料収集

②学習材の例文を基に、資料を用いた説得力のある意見文の書き方を理解し、自分の意見の根拠となる統計資料を選ぶ。
 ③選んだ資料の内容について要件別に書きまとめ、自分の主張につながる考察を考えた構成表を作る。（本時）
 ④構成表を基にして、統計資料を引用した意見文の本論を書く。
 ⑤序論と結論を書き、意見文全体の推敲をする。
 ⑥推敲を基にして、意見文を完成させる。
 <評価> _____
 ②意見文の構成要素と資料の要件について理解している。 《発言・ワークシート》
 ③資料の内容を要件別に書き、自分の主張につながる考察を考えている。 《ワークシート》
 ④構成表を基にして、資料を引用した本論を書いている。 《ワークシート》
 ⑤自分の主張に沿った序論と結論を書いている。 《ワークシート》
 ⑥推敲を基にして、意見文を書いている。 《ワークシート》

資料分析や意見文の交流の際に、ペアやグループで話し合う場を設定することにより、助言し合う力を高めることができるようにする。

第3次
意見文集「城南小のくらしブック」を交流し、学習のまとめをする。
（1時間）

⑦意見文を読み合い、考え方や資料の使い方、文章の書きぶりについて評価し合う。
 <評価> _____
 ⑦友達の文章を読んで、優れた点を取り上げて具体的に助言・評価している。
 《発言・ワークシート》

【国語科・他教科等活用場面】
 ○総合的な学習の時間「めざせ！環境守り隊」の学習を通して学んだ事柄や資料を基にして、環境に関する意見文を書く。

5 本時の指導（3／7時）

(1) ねらい

選んだ資料の内容について要件別書きまとめ、自分の主張につながる考察を考えることができる。

(2) 展開

学習活動	思考を促す発問や指示(◎)と反応例(・) 学習内容	指導の手立て(○)と評価
1 本時の学習課題を確認する。 資料から分かることを整理し、自分の考えにつながる考察を考えよう。		○学習計画を基にして、「資料を分析して本論の構成表を作る」という単元全体における本時の位置付けを確認できるようにする。
2 課題解決の見通しをもつ。		○本時の活動の流れを板書上に表し、見通しをもって活動できるようにする。
3 資料を引用する際の要件を確認する。 (全体)	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【引用する資料の説明の要件】</p> <p>①資料の表題 ②資料が表している内容 ③注目すべき数値や言葉 ④数値や言葉から考えられること</p> </div>	○前時までに使ったワークシートを活用し、自分の主張を確認できるようにする。 ○「引用する資料の説明の要件」の掲示資料を作成し、いつでも確認できるようにする。
4 自分が選んだ資料の内容について、①～③の要件を書く。 (個人)	◎自分の選んだ資料の説明を、要件ごとに書いて整理しましょう。 <①資料の表題> ・城南小の○○について <②資料が表している内容> ・棒グラフは平成○年から○年の～～の変化を表す。 ・折れ線グラフは平成△年から▽年の～～の変化を表す。 <③注目すべき数値や言葉> ・平成○年は約□□□人。平成○年は約■■■人。約▲▲件減っている。どちらもだんだん減っている。	○資料の内容を整理するために、要件別の枠を設定した構成表作成ワークシートを準備する。 ○①と②については、事前に教師が児童の選択した資料を一覧表に整理しておき、助言できるようにする。 ○③についての資料の読み取りが難しい児童には、「自分の主張に沿うこと」「高い数値と低い数値を比べること」「増加・減少の傾向を見ること」などの読む観点を与えたり、資料読み取りのモデルを示したりする。
5 注目した数値や言葉から導き出される考察について話し合う。 (ペア)	◎自分が注目した数値や言葉から、どんな考察を導くことができるか話し合います。 ・ぼくは、○○も■■も減ってきているということは、～～だということだと思ふ。 ・その考察なら、◇◇件減っている部分を引用した方がいい。	○ペアで④について話し合う場を設定することにより、引用した数値の妥当性や考察とのつながりなどについて、助言し合う力を高めることができるようにする。 ○自分の主張につながる考察となるように、「主張に沿っていること」「グラフの変化の原因」「今後の予想」などの観点を与える。
6 注目した数値や言葉から導き出される考察を書き、交流する。 (個人→ペア)	◎資料の数値から分かることを基に、自分の主張に説得力をもたせる考察を書きましょう。 <④数値や言葉から考えられること> ・○○も■■も◇◇件減ってきているということは、～～だということだと思ふ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈評価〉</p> <p>・資料の内容を要件別書き、自分の主張につながる考察を考えている。 《ワークシート》</p> </div> <p>○児童の実態に応じて、数種類の構成シートを用意し、課題解決の手立てとする。</p>
7 本時の学習を振り返る。 (1) 自己評価をする。 (2) 振り返りを交流する。		○「資料の説明の書き方」や「助言の仕方」における学習の成果を観点としてワークシートに記入させ、身に付けた力を実感できるようにする。
8 次時の学習を確認する。		○次時は、構成表を基にして本論を書くことを確かめ、意欲を高める。